

# 同窓会報



発行 〒 992-0039 山形県米沢市門東町 1 丁目 1 番 72 号 九里学園同窓会 事務局 TEL0238-22-0091 FAX0238-22-0092



平成29年 一人芝居「花いちもんめ」

3頁「演劇に魅せられて」より

## 同窓会に新風を

同窓会長 鈴木 京子

同窓生の皆様には、ご壮健で活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、昨年の七月二十一日、同窓会顧問の竹田カツさんが百歳のお誕生日を迎えられ、飯豊支部総会の懇親会で、飯豊の皆様はじめ、米沢からカツさんを敬愛する方々・校長先生も出席され、同窓会からもお祝いをさせていただきました。

来年は、明治三十四年九里とみ先生が学園を創立されてから百二十周年を迎えます。明治・大正・昭和・平成・令和とそれぞれの時代を乗り越え、喜びと感動あふれる歴史を築き続けられたこと、同窓生として誇りに思います。

在校生たちの活躍については、様々な機会でも私達も耳にし、グローバル学習と地域連携の主体となって運営する姿や各部活動の成果に感銘を受けています。

同窓会も、時代に即した今後の同窓会活動の姿を模索しているところです。皆様のご意見をよろしくお願いいたします。

QRコードで九里学園の情報を見ることができます。



同窓会

九里学園 SNS



九里学園HP



インスタグラム



ツイッター



フェイスブック

# 学園近況

## 今、クノリがおもしろい！

学校長 九里 廣志

最近、各種マスコミに、「九里学園」の名前がたくさん出ていることにお気づきですか？部活動（夏は陸上部、冬はスキー部など）の活躍は勿論ですが、最近特に目に付くのは「プログレスコース」の活躍です。

二〇一五（平成二七）年から、文科省が推進する「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」事業アソシエイト（準指定）校として活動してきました。さらに今年度からは「地域との協働による高等学校改革事業・グローバル型」全国で二〇校に指定されました。地域の行政機関を含む多くの地域組織や大学、各種国際関係諸団体からの協力を得て、一年生はSDGs（持続可能な開発目標）を核とした三つのプロジェクトで、レベルの高い探求型学習を進めています。高畠町の有機農法生産者や本校卒業生の協力を得て『食と健康』のテーマで、健康

で持続可能な食糧生産について学び、また「ゆあら元気こども食堂」を運営する本校卒業生たちのご指導を得て、生徒が立ち上げる「くのりKIDS食堂」経営を、そして二月には「多文化共生」をテーマに、台湾の高校生たちとSDGsをテーマに「グローバルサミット」を実施するなど、各種プロジェクト活動を活発に繰り広げています。

二・三年生たちもSGHの県内外での各種発表などで、高い評価をいただいています。台湾・フィリピンの学校との姉妹校提携も進んでいます。

今クノリがおもしろい！クノリから目が離せません。

※グローバルとは、「地球規模・世界規模」を意味するグローバルと「地元・地域」を意味するローカルという2つの英単語を組み合わせた造語。

## 新役員紹介



会長 鈴木 京子 (S58年卒)

副会長 鎌水美恵子 (S43年卒)

渡部 幸太 (H14年卒)

(関東) 斉藤 雄大 (H14年卒)

幹事 大久保洋子 (S42年卒)

町田 悦子 (S45年卒)

齋藤久美子 (S49年卒)

高橋 有子 (S52年卒)

松浦 誠子 (S61年卒)

吉野美紀子 (S63年卒)

若林あい子 (H12年卒)

竹田 悠真 (H26年卒)

斎藤 和恵 (S58年卒)

監事 佐久間綾子 (S57年卒)

鈴木 里佳 (S60年卒)

## 総会・同窓生の集い報告

6/28

モントビュー米沢 於

佐久間綾子 (S57年卒)

令和初の同窓会総会は、会員の皆様から次回に向けて貴重な意見を頂戴いたしました。

総会の後、皆様がお待ちかねの同窓生の集いが行われました。初めて参加なさった方々・毎年参加くださる方、旧職員・現職員の皆様と懐かしく楽しい時間を過ごしました。今回アトラクションとしてお招きしたのは「米菊会」の方々で、唄と三味線の演奏をしていただきました。三味線は何と皆様の高校時代の記憶にある、あの松田お菓子屋さんのご主人と卒業生のお孫さんの微笑ましい共演でした。



日頃の雑事も忘れていろいろな方と大笑いしながら、あの頃の自分に戻って楽しい時間を過ごすことができました。お忙しい中、ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。

## 演劇に魅せられて

安部加奈子さん

私が演劇や舞台に惹かれたのはまだ幼稚園の頃で、どうしたら舞台上に立てるのか、何をしたら上手に表現できるのか、そればかり考えている少し変わった子供でした。

高校では迷いなく演劇部に入り、子供のうちに学べなかった表現する術を覚えたいと、意気揚々と部活動に励みました。多くの仲間と自分達の可能性に対する希望にあふれた日々を過ごしたことは、今でも私の大切な財産となっています。

卒業後も舞台に携わってきました。特に十年に渡って、山形市でミュージ



高校生の安部さん (中)

カルの舞台に出演できたことが、今の私の大きな看板となっています。

近年は米沢の劇団に戻り活動しています。出演する他、演出や各スタッフ等何でもこなさなければならぬのですが、そこでもよい仲間に恵まれ、作品創りに励んでいます。「劇団ぬーぼー」は今年五十五周年を迎えます。文化活動の向上は地域水準の向上に繋がりが、「米沢から演劇の火を消すな」を合言葉に、日々活動しています。

平成二十九年に、私は一人芝居「花いちもんめ」を演じました。戦後満州から引き揚げた女性の物語でしたが、見てくださった方々から大変な反響があり、再び演じたい芝居の一つとなりました。台本の持つメッセージをどう表現し、如何に伝えるか。時に自分を抑えて演じることも芝居の魅力的なところで、沢山の考え方が自分を成長させてくれると思っています。若い頃はがむしゃらに演じていましたが、今は自分がどう見えているか、何を伝えたいかを考えています。舞台を通して知り合えた多くの先生方の言葉が、私を支え成長させてくれます。それはとてもありがたいことです。

これからも飽くことなく舞台に挑んでいきたいと思っています。もっと年を重ねてもいろいろできると、楽しく考えています。



お久しぶりです 皆様

## 九里会

大久保洋子

「お久しぶり」と最初に挨拶を交わすのがこの九里会です。平成十四年、九里学園に長く勤務された神原先生・岩根先生・佳子先生がつけられた教職員員のOB会です。毎年五月の下旬に学園西隣の招湯苑で行われ、山形や仙台・新潟からも駆けつけてくださり、毎年三十名ほどの参加者になります。

先生方は、退職後趣味や社会活動に充実した生活を送られて、この会では生徒とともに過ごした若き日の自分をいとおしみながら人生の舵を確かめています。

中でも茂三先生の存在は大きく、亡くなられる前まで「九里学園を愛してください」という願いの言葉は忘れられません。

(写真は、令和元年の九里会のもので、皆さん習われた先生わかりますか。)

## その土地の水に合わせて…

### 米沢民謡一家さんを訪ねて

昭和二十三年から「米沢民謡一家」として活動されている佐藤さんご家族をお訪ねしました。ご家族の中に四人の卒業生がいっぱいいます。それぞれ唄・太鼓・三味線・尺八・司会と幅広く、家族ならではのチームワークで県内外を問わず長い間公演されています。

昔からいろいろな地域に伝わる民謡ですが、「その土地の水に合わせてやる」ことを演奏の根幹にしているからこそ、心に



響く演奏ができるのだと思います。歌詞の情景が目には浮かび、心揺さぶられる演奏を人々に届きたいという思いは、日々の努力があつてこそなせる業だと感じました。



伝統を次の世代にも引き継ぐために、楽しみながら和の原点に立ち返ってほしいと、以前から九里学園の土曜講座や九里祭のクラス発表などで、民謡一家さんには大変お世話になっていきます。同窓生の中には、私もあの時太鼓を教えていただいたと思い出される方もいらっしゃる

九里祭参加 R1.8.31

## 同窓生作品展

昨年八月三十一日に行われました九里祭で、例年通り同窓生の作品を展示いたしました。毎年毎年のことなので、事尽きるかと思いきや、毎回新しい作品を見せていただき、よくもまあ器用な方が多いことか、そして才能のある方もたくさんいらっしゃるなあと感じるばかりでした。体験コーナー「自分で作ってみましょう」では、ビーズのプレスレット・石けんアート、どちらも百円程度で気軽に楽しめるものを念頭に、担当者に教えて頂きました。訪れた同窓生、生徒さん、子供たちも喜んで持って帰られました。この展示のために企画準備された役員の皆様大変お疲れ様でした。また、出品してくださった皆様に心より感謝申し上げます。

同窓会副会長 鍾水美恵子

でしょう。

現在は、和の音だけでなく洋楽ともコラボをして、新たな世界を生み出しています。今後チャレンジしたいことは、日本だけでなく海外でも民謡を広めていきたいと語っていらっしゃいました。

親子三代で伝統文化を大切に守りながらも、大きく飛躍し続けようとなさっている民謡一家皆様のご活躍を、今後もたくさんの方々の場所で見せていただくことを楽しみにしております。

(神田)



# 私の高校時代

# 自らの努力と相手への尊重

太田嵐太郎さん (H26年卒)

九里学園を卒業後、山形大学に進学、卒業を経て現在は食品メーカーに勤めております。

社会人2年目、ふと高校生活を思い返してみると、本当に沢山の思い出が蘇ります。特に強く印象に残っていることは、高校最後の公式戦「高校サッカー選手権」の初戦です。引き分けでPK戦になり、1番手のキッカーだった私はPKを外してしまいました。私は部長を務めており、「御世話になった顧問の先生方の為にも結果を残さなければ」と思っていたので、とても落胆してしまいました。しかし仲間達は決して諦めることなく、私を励まし、勝利を掴み取ってくれました。私は九里学園サッカー部で良かったと心の底か



ら思いました。

「周囲から信頼してもらうには、自らの努力を怠らず、相手を尊重すること」このような高校時代に学んだことを会社に入ってから意識できていると思います。今後も私を支えてくれる方々への感謝を忘れず、日々過ごしていきたいと思っています。



展覧会展示作業風景

令和元年度の美術部は、地区生徒実技講習会への参加や地区高美展、県高美展への出品をしました。それらの活動では他校生との交流や他校作品を鑑賞することができ、有意義な機会となりました。  
また今年度は顧問の個展のため展示作業をしたり、期間中は受付で来場者への対応も経験しました。この

## 美術部

顧問 樋渡 理志



部活動制作風景

横山葵「人生と時間」 F 80 油彩



経験は制作中心の生徒にとって貴重な機会だったと思っております。美術部員にとって絵を描くことが好きなことは大事なことです。でも、それだけでなく各自目標を持つことが大切だと感じております。是非、展覧会の際には会場へお越し下さい。これからもどうぞよろしくお願い致します。



# 竹田カツさん百歳を祝う

飯豊支部長 梅津 敏子さん

飯豊支部は、元竹田同窓会長が、本部の会長をお退きになった時、九里を卒業して九里を愛してやまない諸先輩方のお力により、支部として発足しました。17年間の長きにわたり支部長としてご指導いただきました。地域では、手芸講座を開き交流を深めご指導なされております。令和元年の総会は、竹田さんが百歳を迎えられましたので、ささやかですが支部でお祝いを計画しました。本部からは校長先生をはじめ諸先生方、竹田会長さんよりご指導いただいた多くの方に参加して頂きました。総会では、竹田さん作詞の支部の歌の斉唱で始まり、お祝いの



言葉を校長先生はじめ多くの方より頂きました。アトラクションでは、竹田さんより歌と踊りの披露もあり、盛大にお祝いをする事が出来ました。竹田さんには、お元気で健康に留意されて、私達後輩の師としてご指導お願い致します。御祝いに参加頂きました皆々様に、心より感謝申し上げます。



「こんばんは！」三年八組クラス会。卒業式から四十二年ぶりに再会する方も数名おり、その方がどなたか？名簿と照らし合わせる事数分。すぐさま高校生の彼女がよみがえってきます。あゝ変わっていない！話し方、身振り、雰囲気：たちまち学舎で皆と過ごした出来事の断片

## 三年八組クラス会及び大木先生を囲む会

二〇一九年十一月九日(土)  
東京第一ホテル米沢 おあえ菜え  
川島 智子さん(旧姓小形)  
(S五十二年度卒)



が次々と舞い降りてきます。校舎のニオイ、そうそう！その頃流行っていた「エイトフォー」(制汗剤)やニベアクリームのニオイまで漂ってきます。

私は大木先生のご次男とそのお嫁さんと同じ職場というご縁もあり「今年の秋ならできる！」と開催した久々のクラス会でした。担任をしていたいただいた時、先生は二十代でしたから、集合写真では先生か？生徒か？判別がつかないほどでしたが、今回の集合写真でも同様です。

今回参加できなかった方も含め、私たちが過ごした米沢女子高等学校での思い出を、時には思い出し懐かしみ、これからも大切にしていきたいと思えます。  
大木先生これからもお元気で！

## 編集後記

サイズを大きくした同窓会報六十三号をお届けします。  
年明け早々から新型コロナウイルスに生活が翻弄されていますが、一日も早く平穏な日常に戻ることを願うばかりです。

(高橋 記)



## 総会、同窓会の集いのご案内

日時：6月27日(土)  
17:30~20:00  
(受付：17:00~)  
会場：上杉城史苑

- ★同窓生の集いは、6月27日(土)です。
- ★今年の運営当番は卒業年が0と1と2のつく学年です。
- ★詳細は別紙を確認の上、お申し込み下さい。
- ★クラス会をされた方は事務局までご一報ください。